

「仲の良い関係性」を求める台湾社会

——アイドル・グループに求められるイメージを事例として——

東京大学 陳怡禎

1 目的

この報告の目的は、現在台湾社会に求められる「仲の良い関係性」に注目し、その価値観の上昇について検討していきたい。手かかりとして、台湾の若者の間に最も浸透している「アイドル文化」に注目し、台湾社会において、アイドル・グループにどのような理想的人間関係の構図が欲求されるか、明らかにしたい。本研究は、台湾社会に読み取られる「アイドル像」は、台湾社会に最も重視される価値観を解明する、参照枠組の一つになると期待できるだろう。

2 方法

そこで、研究方法として、ランダムに約五十名の大学生にアンケートを配り、彼ら若者がどのような理想的関係性図を、アイドルに投影しているか、調査する。主に台湾において主流となる台湾、日本、韓国アイドルを分け、インフォーマントに自由に其々のアイドル・グループに対するイメージを自由に回答してもらおう。さらに、「理想的なアイドル・グループ像」をインフォーマントに伺え、そこから理想的なグループ像を明らかにしたい。

3 結果

分析の結果、調査を受けたインフォーマント達は、アイドル・グループに「品行方正」、「仲よし」という特質を求めることが分かった。また、彼らはアイドル・グループに「家族関係」や「友達関係」に理想像を投射し、「平等的親密関係」を欲求していると明らかになった。さらに、インフォーマントは、大人数の団体関係を好ましくなく、小人数の親密関係により高い価値を与えることを分かった。

4 結論

以上から、台湾は七〇年代以来、急速的都市化の進展につれて社会環境は多元化し、開放的ものとなっている。その結果、台湾において、全体的高学歴化に伴い、高未婚率、低出生率と所謂「脱家族化」の現象が起ったが、実際、全体社会の個人化に進んでいくのとは言い切れない。つまり、本研究は、台湾社会は、いままで重視してきた、血縁関係に構成される「家族」という親密圏の領域を打ち破り、広汎的社会空間に新しい形態の親密圏や社会連帯を欲求しているのではないかと考えている。こういった「仲の良い関係性=友情」と似たような親密性に、「平等的」、「優しい」、「切断しない」、「上下関係なし」という様々な要素が含まれているだろう。

文献

- 伊藤正一 (2012) 「台湾の少子化と製作対応」『人口問題研究 (J. of Population Problems)』68-3 (2012. 9) pp. 50-65.
- 落合恵美子編 (2013) 『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会.
- 陳怡禎 (2014) 『台湾ジャニーズファン研究』, 青弓社.
- 吉光正絵 (2012) 『K-POP にはまる「女子たち」——ファン集団から見えるアジア』, 馬場伸彦, 池田大臣編, 2012, 『「女子」の時代』, 青弓社.
- Patrick W. Galbraith and Jason G. Karlin (2012) "Introduction: The Mirror of Idols and Celebrity." In Patrick W. Galbraith and Jason G. Karlin (eds.) *Idols and Celebrity in Japanese Media Culture* (Palgrave Macmillan), pp. 1-32. そのほか